

神戸市シルバーカレッジの第25期生401名の入学式が4月7日（土）に行われました



入学者数（再入学者含）

- ・健康福祉-----85名
- ・国際交流-----92名
- ・生活環境-----70名
- ・美術工芸専攻----38名
- ・音楽文化専攻----39名
- ・園芸専攻-----37名
- ・食文化専攻-----40名



服部学長挨拶要旨

- ・新しくお迎えした25期生の皆様おめでとうございます
- ・本校はH5年秋に開学し、すぐに阪神淡路大震災で一時休校を余儀なくされた時期もありましたが、7700名以上の卒業生を送り出しています。
- ・日本人は人生50年と言われた時期もありましたが、今世紀にはいるころから、80年といわれ、近年は、人生100年といわれるようになった
- ・100年をどのように生きるか、人生設計が必要になってきています。
- ・文章を書くときのように、起承転結で、人生を4つに分けると、第1段階 0～25歳 第2段階 ～50歳 第3段階 ～75歳 第4段階 ～100歳とすると、皆さんはだいたい第3段階で、文章でいうと「転」に属すると思われます。
- ・インドでは四住期といわれる人生モデルがある人生を4つの時期に区切ると
 - ①学生期（学び修行の時期） ②家住期（家庭をつくり思い切り働く） ③林住期（自由な天地）④遊行期（祈りの余生）があり、皆様方はシルバーカレッジで自由に学び、自由楽しむ、林住期といえます。
- ・シルバーカレッジの建学精神は「再び学んで他のために」であるが、前半の「再び学んで」では、カレッジではたくさんの学びを用意しています。
 - 高度な専門講座、共通授業、各スポーツ、グループ学習、クラブ、サークル、いろいろなイベント、そしてたくさんの出会いがあります。ふれあい友情は人生の宝である。この3年間で、これらを沢山蓄えて欲しい。
- ・これが後半の「他のために」に繋がっていきます。
 - 在学中から多くの方が始められてますが、他のために何をなすか、人のことはどうでも良い自分さえよければという人や誰にも関心を持たれない人が多い現代社会において、他のために何かをなすこと、他の人と共に生きることが、現代社会を潤し、豊かにします。これがカレッジのスクールモットーであり、前半、後半で完結します。カレッジではこの精神を大切にしています。
- ・他者のために生きる、何かをなすことで、相手の心にももし火を灯すことが出来れば、自分自身にももし火を灯すことになる。相手が元気になれば、自分自身にも力をもらうことになります。
- ・「再び学んで他のために」というスクールモットーを心のうちに包み込んで、3年間のカレッジライフを味わい楽しんでほしいと思います。



25期生のみなさん

平成30年度 神戸市シルバーカレッジ入学式



在校生歓迎のことば



全員で 校歌斉唱



新入生あいさつ

グループ別のパワーポイントプレゼン

NPO法人 社会還元センター グループわ
(シルバーカレッジのOBを中心としたボランティア団体)

会員 KSC1～21期生を中心に1444名 (H29年度)

9区会	本部	5部会
東灘、灘、中央、兵庫、北、長田、須磨、垂水、西	運営業務 水の科学博物館 須磨一谷フラグ 電話相談 虐待、いじめ・体罰 各種イベントの実施	福祉・国際・環境・文化・いきがい クラブ数:60
内容 施設慰安訪問(音楽・舞踊ほか)、国際交流、環境保全・啓発、文化、いきがいづくりなど幅広く活動		
対象 高齢者、障害者、幼児・児童など		

わだから任せられるという高い評価を得ている

区会・部会活動の一部紹介